

1 ねらい

・教育活動、その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき教育活動・学校運営の改善を図る。

2 アンケート実施期間 平成29年12月

3 対象者 生徒932名、全保護者932名（生徒数）、全教員 59名

4 回答率（%） ※生徒1名について、1枚の評価をいただいた方もおります。

	生徒	保護者	教員
回答数	889名	854名	59名
回答率	95.3%	91.6%	100%

5 アンケート結果と考察

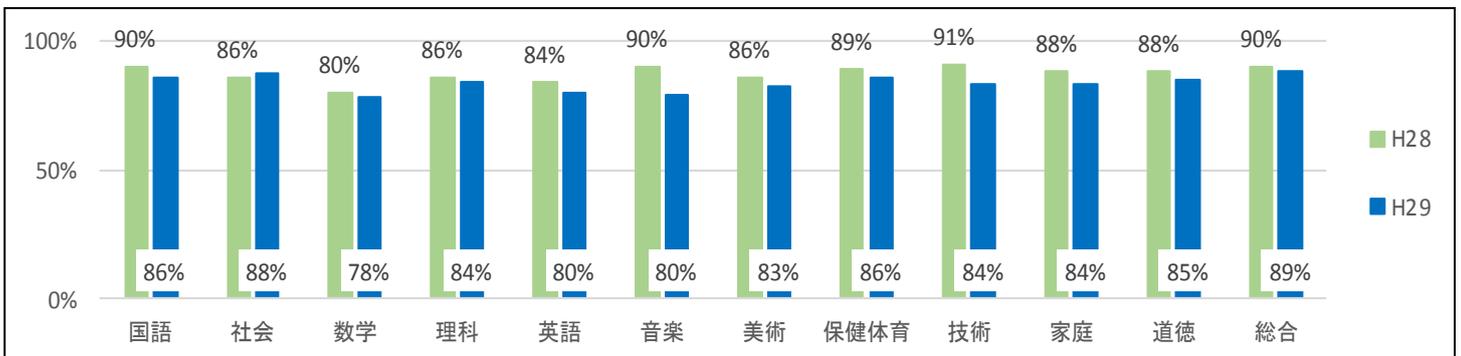
「そう思う、大体そう思う」と答えた生徒・保護者・教員についての割合でグラフを作成。

< 生徒 >

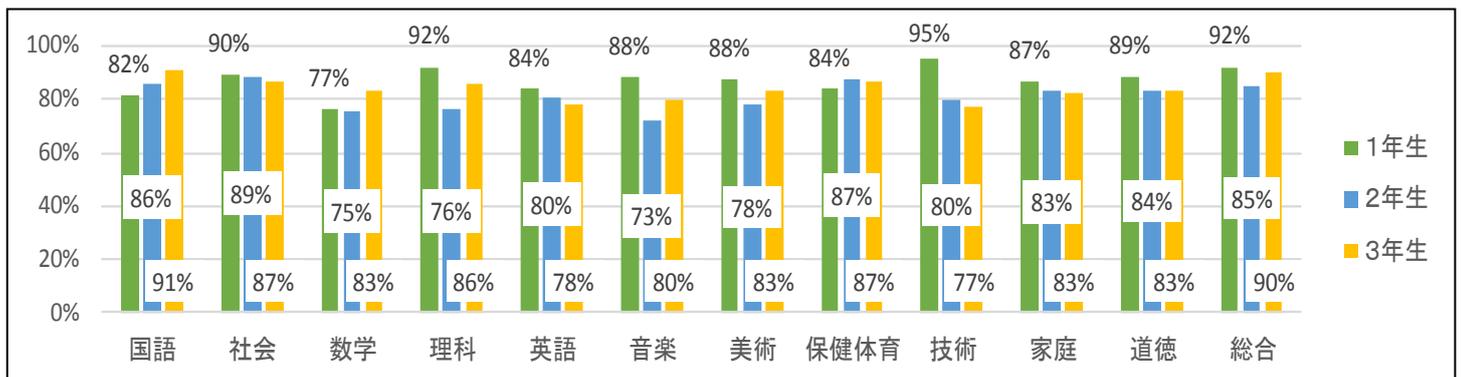
(1) 学習面：各教科への取り組みについて

質問：学習への取り組み 「興味・関心を持って取り組む。」

【全校生徒】 ・昨年度（28年度）に比べ、社会が2ポイント上昇した以外は、どの教科も1～10ポイント下がっている。  
 ・ほぼ全教科とも、80%を超える生徒が興味関心を持って取り組んでいる。

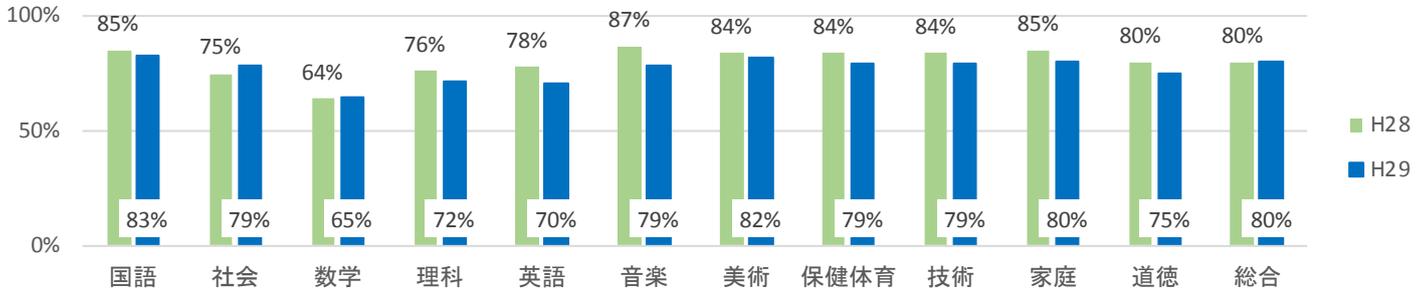


【学年別】 ・1年生はどの教科でも興味関心が高い。特に1年の理科と技術、3年の国語で、例年と比べても高い関心を持って取り組んでいる。

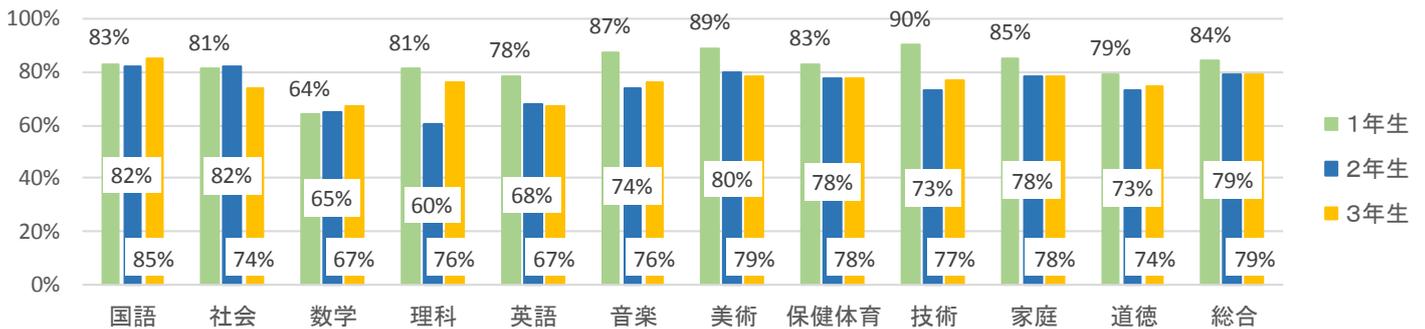


**質問：学習の理解度 「(各教科について) 理解できる。」**

- 【全校生徒】
- ・英語・音楽が8ポイント、保健体育・技術・家庭・道徳が5ポイント、理科が4ポイント、昨年より下がり、社会は4ポイント、数学は1ポイント上昇した。
  - ・前年度はほぼ全教科で理解度が上昇したが、本年度は理解度が上がった教科が2教科で、下がった教科が9教科ある。授業で思考力・表現力の向上を目指しているが、個々の生徒がわかったと感じる授業づくりを意識していきたい。

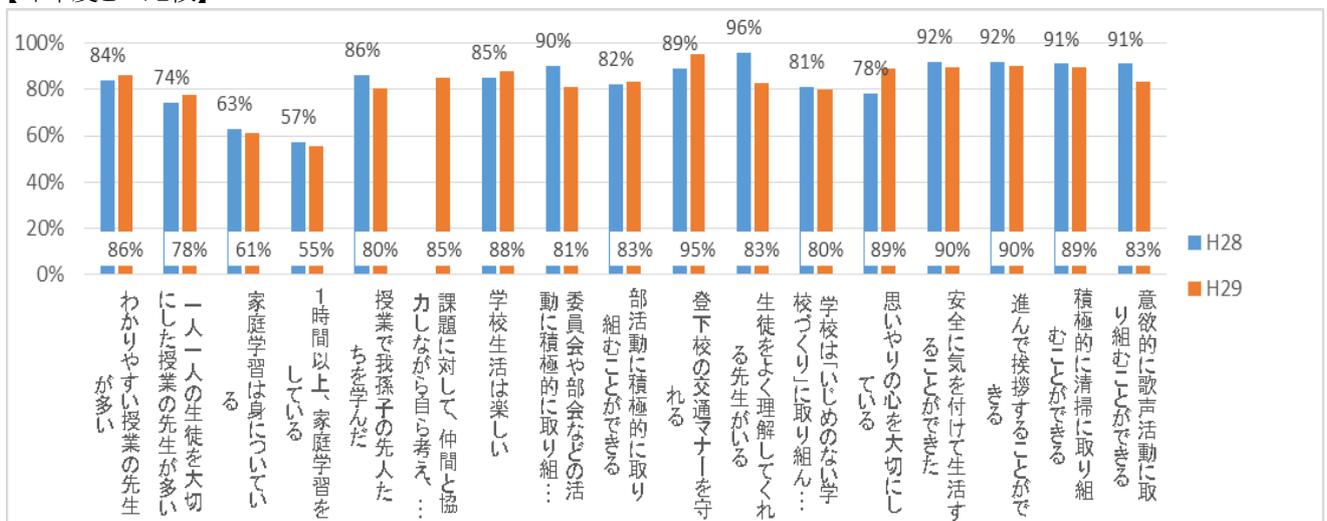


- 【学年別】
- ・1年生は8割を超える生徒が理解できたと感じているが、数学、英語は8割を切っている。
  - ・国語はどの学年も8割を超えている。
  - ・2, 3年生で7割を切っている教科(2・3年数学、2年理科、2・3年英語)があるので、改善を図っていききたい。

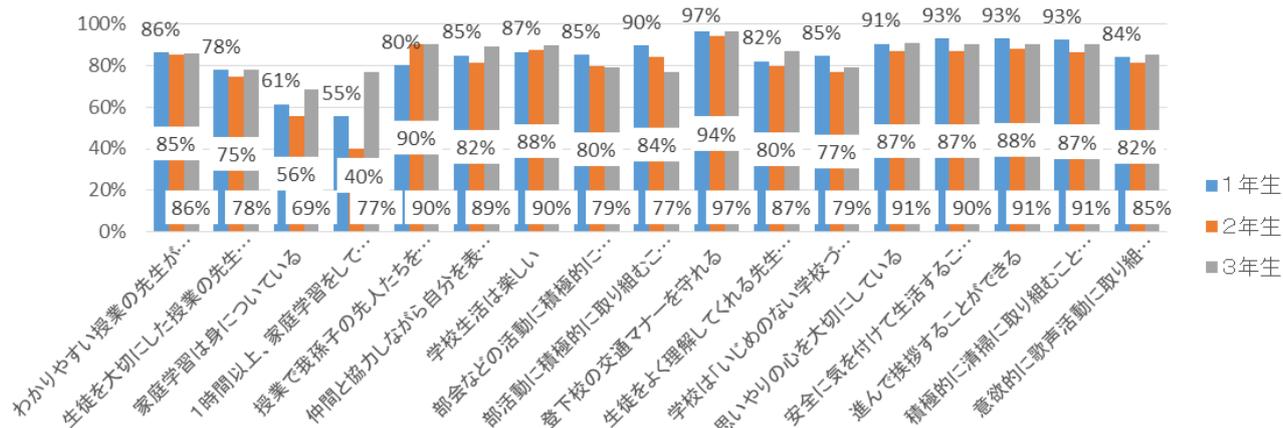


**(2) 生徒の家庭学習・学校生活などについて**

【昨年度との比較】



## 【学年別】



### \*\*学習について\*\*

- ・「わかりやすい授業に努めている先生が多い」「一人一人の生徒を大切にしたい授業を行う先生が多い」と答えた生徒が増えている。
- ・生徒の家庭学習への取り組みについては下がっている。
- ・「課題に対して、学級やグループの仲間と協力しながら自ら考え、発表したり表現したりすることができた。」と答えた生徒が8割越え、自分の考えを表現することに自信がある生徒が多くいる。

### \*\*学校生活について\*\*

- ・「学校生活が楽しい」と感じる生徒が3%増えている。
- ・委員会、部会といった自治活動に対する取り組みへの意識が、昨年度より低くなっている。
- ・「登下校のマナー」を守っていると思う生徒が95%おり、意識が高まっている。
- ・「思いやりの心を大切にしている」と回答した生徒の割合が、昨年度78%から89%へと上がっており、相手の気持ちや立場になって行動できるようになってきた生徒が増えている。

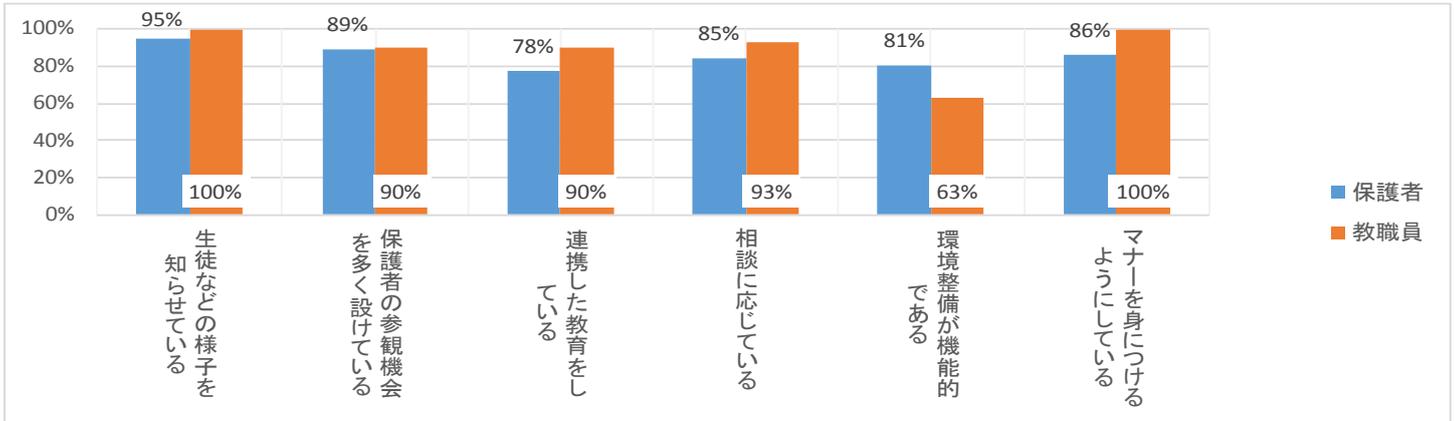
### \*\*教師・学校の取り組み\*\*

- ・「生徒のことを理解する教師」は、昨年度96%だったが、一昨年度と同じ83%となった。日常の教師の声かけ・相談活動を大切にし、学校全体でアンケート結果やQU検査等を活用し、生徒理解に力を注いでいきたい。
- ・「いじめのない学校づくり」は、ほぼ昨年と同様の結果であるが、いじめのない学校づくりに向け、教育委員会や外部機関と連携しながら、さらに学校全体で組織的な取り組みを強化していく。

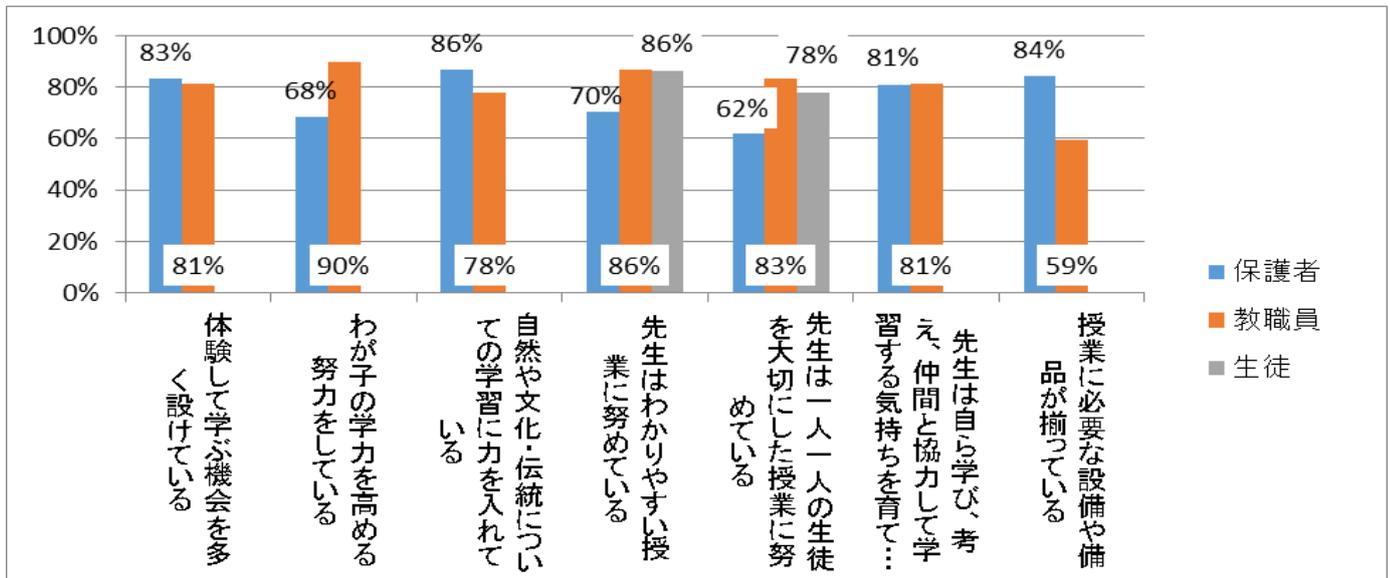
# 【 保 護 者 】

＜教師と保護者と教師（と生徒）の回答を比較＞

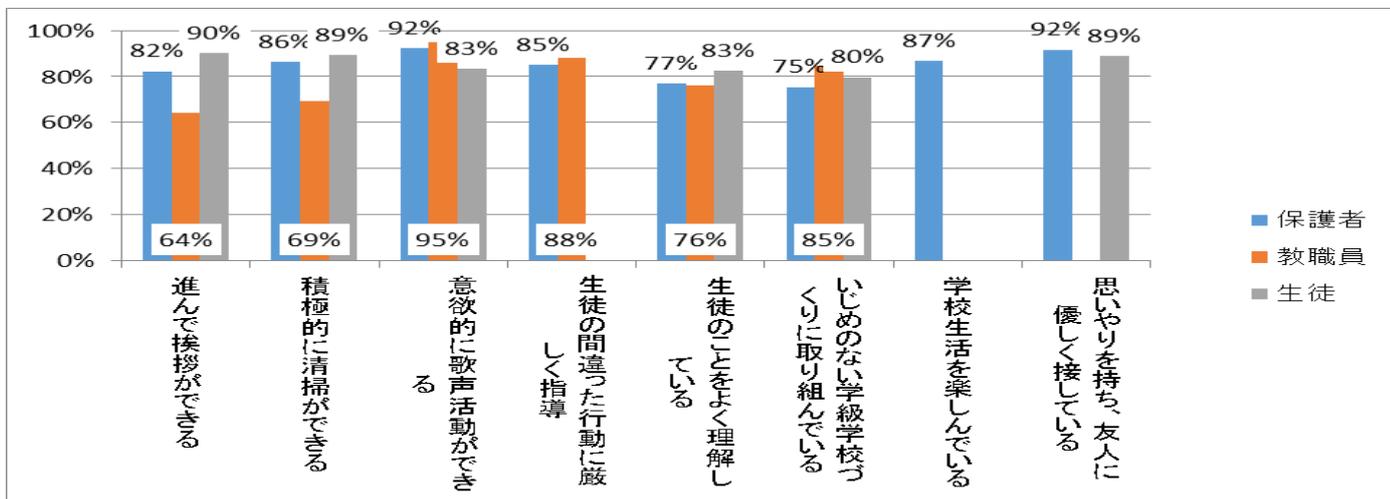
## (1) 学校運営について



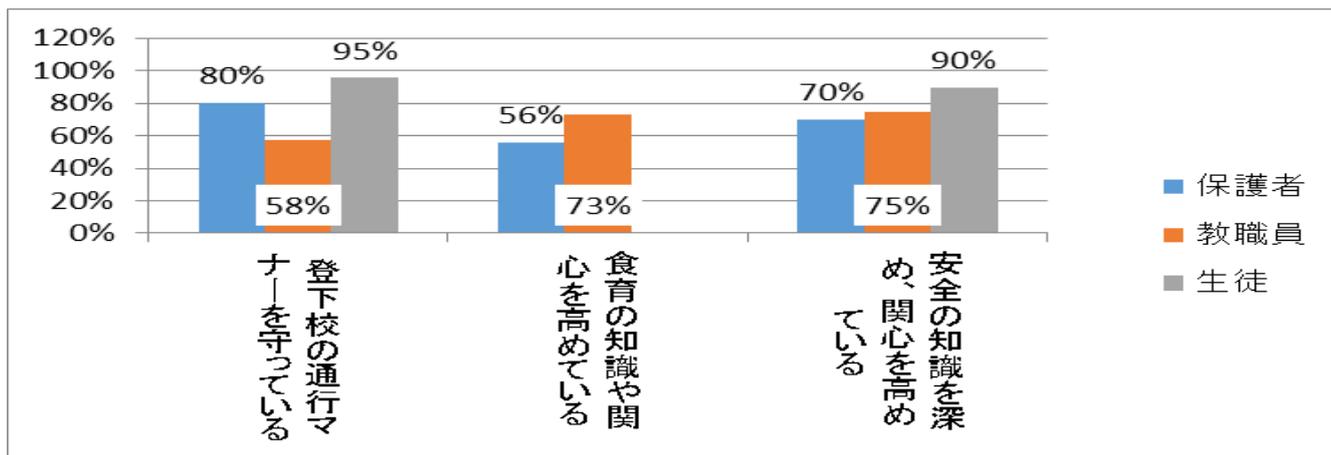
## (2) 学習指導



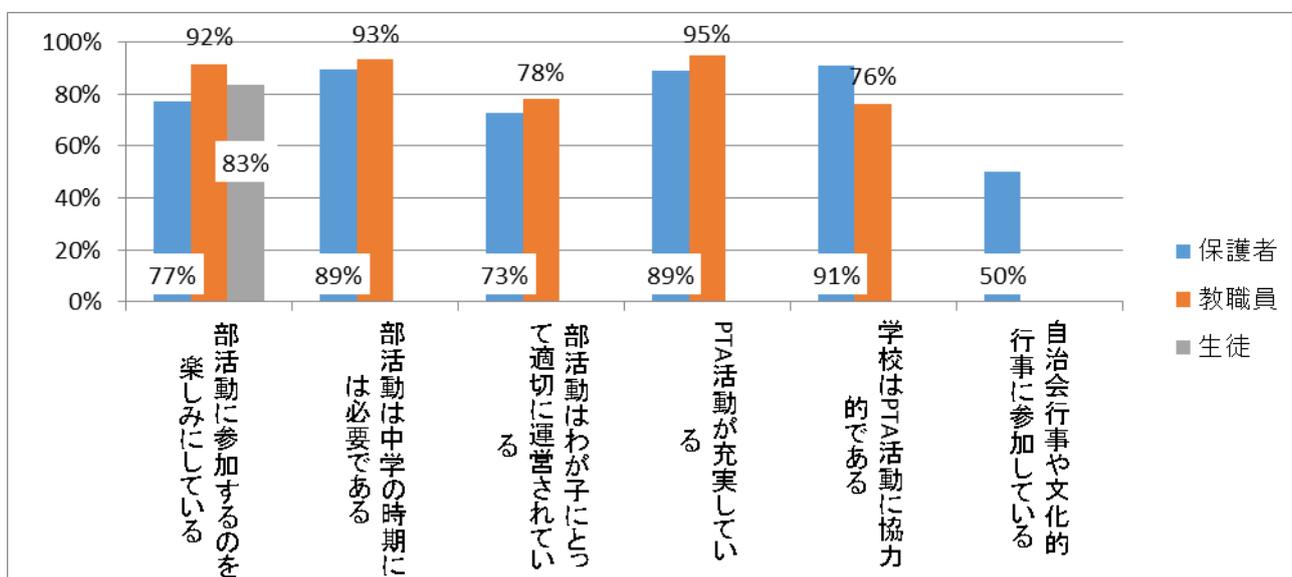
## (3) 生徒指導について



#### (4) 健康・安全面について



#### (5) 部活動・PTA活動について



- ・学校運営** については、「学校と家庭、地域との連携」と「教育相談」「社会ルールの遵守」について、昨年度よりは差は縮まっているものの、まだ保護者と教師の間に意識の差がある。学校でやっていることを日頃から広く保護者・地域にさらに知らせていくと同時に、より意識して家庭や地域との連携や教育相談を進める必要がある。また、社会ルールやマナーの指導については、保護者や地域の方々にも協力を仰ぎながら、意識の高揚を進めていきたい。
- ・学習指導** では、肯定的な評価をした保護者の回答がほぼ昨年度と同等である。「学力を高める努力をしている」や「一人一人を大切にすること」という点では、6割程度しか保護者の肯定的回答を得られていないので課題があるといえる。また、保護者と教員の回答の差については、昨年度より減少している。特に、「自ら学び、考え、仲間と協力して学習すること」については、保護者と教員の捉え方が同じである。これは、PTA 活動や全国公開研究会への取り組みを通して、保護者とともに授業づくりをしてきたことが大きいと考えられる。「わかりやすい授業」については、教員の肯定的回答が1割ほど減少しているの、改善を図っていきたい。また、学校の授業づくりについて理解をしてもらえるよう、保護者会、学校だよりやホームページなどを通して伝えていきたい。
- ・生徒指導面** については、「挨拶」や「清掃」、「いじめのない学校づくりへの取り組み」で、保護者・生徒と教師の間で、肯定的評価の差が縮まってきている。三大伝統(挨拶・清掃・歌声)への取り組みが充実するようにしていきたい。また、「生徒理解」や「いじめ」への取り組みについて、生徒からの評価は8割を越えているが、保護者

からの評価は8割に届かない。引き続き、生徒理解に努め、「いじめのない学校づくり」に向けて取り組みを充実させたい。

- ・**健康・生活面**では、登下校のマナーについて、保護者・生徒は8割以上の肯定的回答が得られているが、教師からの評価との間には差がある。登下校のマナーについては課題がある。保健教育や食育の指導について、保護者に伝わっていない面があるので、保健だよりや給食だより、給食賞味会などを通して学校の取り組みを伝えるとともに、より意識して必要な指導をしていきたい。
- ・**部活動指導**については、保護者の「わが子は、部活動を楽しみにしている」や「部活動は必要である」という回答が5ポイントほど下がっている。教員の捉え方は変わっていないが、保護者の、部活動への捉え方が変わってきているようである。部活動の運営方法、指導方法等について、教育委員会の指導を受け改善しながら、充実したものとしたい。
- ・**「生徒の地域の行事への参加」**がまだ50%以下なので、地域の行事を大切にする意識を学校としても高めていきたい。

## <全体を通して>

### ① 学習指導

- ・重点項目のひとつである『学力向上』については、平成27年度より国や県の指定を受け、「主体的・対話的で深い学び」を追求したアクティブ・ラーニング型授業の展開により、子どもたちが「わかった」「学ぶのが楽しい」「もっと学びたい」と感じる授業づくりをしてきた。その結果、H29年度3年生の学力学習状況調査では、国語・数学において、A問題（主として知識に関する問題）、B問題（活用に関する問題）ともに県平均、国の平均より高い成績であり、「課題に対して主体的に取り組んでいる」やグループやクラスで学び合う活動を通して「自分の考えを深めたり、広めたりしている」と考えている生徒が多いことがわかった。しかし、本年度の学校評価（全学年実施）からは、生徒の各教科の学習への意欲・関心や理解度が昨年度より下がり、保護者からの学力向上への取り組みへの評価が低くなるなど、厳しい結果が出ている。「わかりやすい授業」や「一人一人を大切にされた授業」をしているという点では、生徒は昨年度より高く評価しているので、アクティブ・ラーニング型授業への保護者の理解が得られるよう、今後の教育の方向性について引き続き説明をしていきたい。また、「できた」「わかった」という達成感をもてるよう、基礎基本の定着を図るよう努力するとともに、発表や自己表現が苦手な生徒への指導の仕方も工夫していきたい。
- ・我孫子中区の小学校とも連携して、生徒の基礎学力の向上と滑らかな継続的な指導を図っていきたい。
- ・補習や学習サポートについてもテスト前や放課後、今年度同様計画し、生徒が参加しやすいように呼びかけや時間の設定等、工夫をしていきたい。

### ② 生徒指導・安全面

- ・自転車の乗り方、登下校のマナーについて、9割を越える生徒が守っているが、残りの1割の生徒がまだ守れていないので、各家庭や地域、生徒会活動（安全委員会）と連携して、安全指導に努めていく。
- ・携帯やメール、SNS等の使用に関する情報教育については、それらを効果的に使う方法を指導すると共に、誤用によるトラブルを避けるためにも、保護者・PTAの協力を仰ぎながら、計画的に行っていく。
- ・挨拶・清掃・歌声の「三大伝統」については、生徒自身の評価がやや下がっているため、職員の率先垂範に合わせ、本年同様、委員会活動を活性化し生徒会とも連携し重点的に取り組んでいく。
- ・いじめについては、人間関係作りやコミュニケーション能力を育てる指導と併せて学校全体でこれからも取り組んでいく。「いじめはしない」「いじめは許さない」という優しさと強い気持ちを生徒に育てていけるよう、道徳の時間を始めとして日頃から育てていきたい。また、教育相談の時間をとる

など一人一人に目を向け、日常の観察や生活記録帳などを大切にし、職員の横の連絡および保護者の協力を仰ぎながら、迅速な対応をしていく。

- ・「思いやり」について肯定的な回答が9割を越しているので、日頃から様々な立場の人にも思いやりを持って接することができるように、生徒の持っている優しさを大切にしていきたい。

### ③ 部活動指導

- ・結果偏重にならないように、体力向上や人間関係づくりの場面と捉えて取り組んでいく。学習や家庭生活とのバランスも考慮し、週1日は完全休養日を設ける。
- ・下校時の安全指導や交通マナーについて、顧問が日常的に声かけをしていく。
- ・部活動の計画、情報発信についても、顧問が確実に連絡できるように努める。

### ④ 教師の指導

- ・若手の職員が多くなってきた中、指導方法の研修のみならず、教員である前に社会人としての言葉遣いやマナー等も研修していきたい。

### ⑤ その他

- ・HPの更新やメール等による情報提供・発信については機会を捉え丁寧に行っていききたい。特にHPについては組織の中で明確化し対応していきたい。

## 【学校評議員会議より】

- ・登下校のマナーについて、生徒は自分たちは守っていると思っているようだが、大人数なので自分たちの様子を外の目から見る事が出来ないことも考えられる。登下校の様子をビデオに撮って見せたりするなどして、生徒に知らせていき、視点を変えさせていくことも有効である。自転車事故は、賠償責任が伴うので本人・家族ともに負っていくことになるので、自転車保険に入っておくことを勧めたい。
- ・家庭学習の時間が少ないが、現状を考えると、塾に行き学習する時間も含めた方が現実的ではないか。設問を塾の時間も入れた「学習時間」とした方がよいのではないか。
- ・トイレの設備については、評価が低い。市でトイレの整備を進めてもらいたいところである。トイレは大切で、身体にも影響が出る。
- ・冬季トレーニングについては、何故、何のためにやるのかを説明が足りないように感じる。我孫子市では全中学校でやっており、体力づくりと言う意味で意義のある活動である。部活動ごとではなく、全体で周知をした方がよろしい。
- ・部活動について、技術的な部分は外部人材を入れていき、教員の負担を減らしてはどうか。しかし、義務教育である中学校で、教員が関わるということも意味のあることなので、うまく外部の力を利用する視点が大切である。
- ・生徒の出している、「SOS」を見逃さず、早期に対応できるようにしていきたい。